

自民県連大会

山形市長選へ陣容固め

遠藤氏が 会長統投 政調会長には田沢氏

自民党県連大会が21日、山形市のパレスグランドールで開かれ、遠藤利明衆院議員(65)＝県一区＝の3期目の会長統投が正式に決まり、新幹事長に金沢忠一県議(65)＝山形市区Ⅱ＝が就いた。新人の佐藤孝弘氏(39)＝団体役員、同市宮町3丁目Ⅱ＝を擁立して臨む山形市長選(9月6日告示、同13日投票)に向け、新役員や新ポストを配置して陣容を固めた。

＝1面に関連記事

調会長に田沢伸一県議(65)＝東田川郡区、幹事長代理に加賀正和県議(47)＝尾花沢市・北村山郡区Ⅱ＝が新たに就いた。さらに新ポストの政調会長代理に奥山誠治県議(55)＝山形市区Ⅱ＝が就任した。副会長の平弘造県

議(68)＝長井市区Ⅱ＝と総務会長の坂本貴美雄県議(67)＝新庄市区Ⅱ＝は留任した。人選に当たった遠藤会長は大会後の記者会見で、山形市長選や来夏の参院選の候補者選定、党勢拡大などを挙げ、「今年の選挙の最大の課題は山形市長選で、党、県連挙げて取り組んでいく覚悟だ。最大の力を發揮し、市長選、参院選を取り仕切ることができる最適な人選をしたと思う」と説明した。

大会には鈴木憲和、加藤



新体制を整え、本県の発展を誓い合った自民党県連大会＝山形市・パレスグランドール

会長は2期2年務めるのが慣例だが、遠藤会長は加藤新一元党幹事長以来となる3期目に入る。副会長を含む役員は会長の指名事項。金沢新幹事長のほか、政

鮎子両衆院議員、岸宏一、大沼瑞穂両参院議員、県議、支部代表者と、来賓の吉村美栄子知事、市川昭男山形市長ら各市町村長、公明党県本部の菊池文昭代表ら約600人が出席した。